



東京で学び 北九州で研究

2027年度入学
Waseda University

地域探究・貢献入試

(北九州地域連携型推薦入試)

早稲田大学基幹理工学部
大学院情報生産システム研究科



WASEDA EDUCATION JOURNEY

高校 大学 大学院

1年次から3年次は西早稲田キャンパスで、
 数学と基礎工学をベースに基礎力を養成し、
 4年次から北九州キャンパスで
 社会と直結した専門研究を行います。

基幹理工学部学系2（IPSコース）または学系3（IPSコース）に入学し、3年次までは学系2または学系3の一般学生と同様に、西早稲田キャンパスで基礎教育を受けます。
 2年次進級時には学科選択（進級振り分け）を実施し、学系2は応用数理学科、機械科学・航空宇宙学科、電子物理システム学科、学系3は応用数理学科、情報理工学科、情報通信学科に分かれてより専門的な教育を受けます。4年次からは北九州キャンパスで30研究室の中から最も自分にあった研究室を選んで、卒業研究を行います。



TOKYO X KITAKYUSHU




早稲田ならではの、
 確かな就職実績。
 有力企業で
 多くの卒業生が
 活躍しています。
 (以下、修了生の主な就職先)

- 自動車・輸送機**
 - ダイハツ工業
 - トヨタ自動車
 - 日産自動車
 - 本田技研工業
 - マツダ
 - 三菱自動車工業
 - SUBARU
 - アイシン
 - デンソー
 - ヤマハ
- 電機・精密**
 - ウエスタンデジタル
 - 京セラ
 - 東京精密
 - ファナック
 - フォスター電機
 - アドバンテスト
 - 村田製作所
 - ルネサスエレクトロニクス
 - ローム
 - Huawei Technologies
 - LG Electronics
 - Samsung Electronics
 - シャープ
 - ソニー・グループ会社
 - 東芝・グループ会社
 - パナソニック・グループ会社
 - 日立製作所・グループ会社
 - 富士電機
 - 三菱電機
 - NEC・グループ会社
 - キヤノン
 - コニカミノルタ
 - セイコーエプソン
 - ニコン
 - 富士フイルムビジネスソリューション
 - ブラザー
 - リコー
 - オムロン
 - 島津製作所
 - 富士通・グループ会社
 - 横河電機
- 機械**
 - カナデピア
 - ジェイテクト
 - 小松製作所
 - 三菱重工業
- エネルギー資源**
 - 出光興産
 - ENEOSホールディングス
 - SLB
- 素材・化学**
 - 住友化学
 - 東レ
 - 富士フイルム
 - 三井化学
- 建設・資材**
 - 旭興産
 - 清水建設
 - TOTO
 - 日揮
 - YKK AP
- 銀行**
 - 香港上海銀行
 - 三井住友銀行
 - みずほ銀行
 - ゆうちょ銀行
- 電力・ガス**
 - 九州電力
 - 中国電力
 - 東北電力
- 運輸・物流**
 - JR各社
 - スカイマーク
 - 全日空
- 食品**
 - アサヒビール
 - 日清食品ホールディングス
- 鉄鋼・非鉄**
 - 神戸製鋼所
 - 日本製鉄
- 金融（除く銀行）**
 - 野村證券

富金原 凜子 [北九州地域連携型教育・研究プログラム生 修士課程1年生]

1年次の基礎工学の授業や専門講義、実験を通じて機械系への関心を深め、2年次から機械科学・航空宇宙学科に進級しました。西早稲田で出会った友人達と切磋琢磨し合いながら課題や試験勉強に取り組んだ日々は、かけがえのない思い出です。現在はIPSで国内留学のように多くの優秀な留学生と共に学生生活を送り、異なる価値観や文化にも触れ、自身の研究に励んでいます。今後さらに研究を進め、社会や産業の発展に貢献できるグローバルな技術者を目指します。



こんな志を持つ学生歓迎!!

企業人との関わりを通して、実学に基づいた技術を身に付け、世界に発信したい!

将来、自分が習得した技術を地元で役立てて、貢献したい!

情報化社会を自らの手で作っていききたい!

多彩な専門性を誇るIPSの研究室から、自分の研究分野を選びたい!

IPSで行っている研究 例えば...

1 バイオ・ロボティクス&ヒューマン・メカトロニクス研究
 情報アーキテクチャ分野 松丸隆文研究室



高齢者・脳卒中片麻痺患者の上肢運動機能および認知機能の維持・回復を目的とした卓上型画像投射式上肢訓練装置を開発しています。

2 機械システム設計研究
 生産システム分野 田中英一郎研究室



足が地面から離れる際の蹴り出しをスムーズにアシスト! 歩ける感動を取り戻せる歩行支援ロボットの研究開発を行っています。


3 マイクロ電気機械システム
 集積システム分野 池橋良雄研究室



半導体の製造方法を用いて機械的に動くデバイスを作り、次世代のセンサやアクチュエータに応用する研究をしています。

岡藤 駿太郎 [北九州地域連携型教育・研究プログラム生 修士課程2年生]

私は1年次に数学や物理の基礎科目、2・3年次に機械科学・航空宇宙学科で、ものづくりの土台となる4力学を学びました。現在は、宿泊業の業務効率化を目的としたロボットやシステムの開発に取り組んでいます。社会課題に技術で応える実践的な研究にやりがいを感じています。また、留学生が多く、異なる文化や価値観に触れることで、視野が広がる点も魅力のひとつです。実社会と深く関わる研究に挑戦し、国際色豊かな環境で、あなたも新たな一歩を踏み出してみませんか?





技術の根幹にある数学をベースとした基盤技術の教育・研究を展開し、時代を切り拓き世界で活躍できる人材を育成。



早稲田大学の奨学金制度

およそ150種類の奨学金制度があり、受給者は約3,400人、交付総額は約15億円と、日本トップクラスの充実度を誇ります。入学前に予約採用される奨学金を活用すれば、入学後の生活に見通しを立てて、入試に臨むことができます。

学内奨学金 (2026年度実施予定の一例)

早稲田大学が独自に設置している学内奨学金は、およそ150種類。そのすべてが返済不要の【給付】奨学金です。入学前に入学後の奨学金受給資格をお約束する「めざせ!都の西北奨学金」をはじめ、さまざまな奨学金が用意されており、学外奨学金(日本学生支援機構や民間団体等)との併用が可能です。

入学前予約採用奨学金

「めざせ!都の西北奨学金」

- ◆ 年額700,000円を4年間継続支給
- ◆ 採用率約98%

この奨学金制度は校友からの寄付等を原資とし運用されています。
※国による修学支援新制度と併給の場合は、支給額が調整されます。
※各学年で、家計状況及び学業による継続判定を行います。

申請資格
東京都(島しょ部除く)・神奈川県・埼玉県・千葉県以外の国内高校・中等教育学校の出身者。また、父母の「最新の所得証明書」記載の収入・所得金額を合算した金額について、給与・年金収入(控除前)の合計が1,000万円未満の方、その他、事業所得金額の合計が438万円未満の方が対象になります。詳細は奨学課Webページでご確認ください。



「めざせ!都の西北奨学金」が、あなたの学費を大きく支えます。

【ご参考】各大学の学部1年目にかかる費用比較(2026年4月時点)

	入学金	学費(年額)	諸会費等	計
国立大学A	282,000	635,400	—	917,400
国立大学B	282,000	642,960	—	924,960
国立大学C	423,000	535,800	131,260	1,090,060
早大 基幹理工学部	200,000	1,644,000	3,000	1,847,000
早大 基幹理工学部 (IPSコース含む) めざせ!都の西北奨学金採用者 ※めざせ!のみ受給の場合	200,000	944,000	3,000	1,147,000

※単位:円

授業料 実質 884,000
実験実習費 60,000

授業料 1,584,000
実験実習費 60,000

応用数理学科 　あらわす、つなげる、うみだす ー応用数理は未来への扉



AI技術や大規模データが世界中を変革する今、数学や統計学の専門知識やITスキルに加えて、現実のさまざまな問題を数理的に解決できる人材が必要とされています。応用数理学科では、現象数理・統計数理・情報数理の三つの柱を通じて、抽象的な理論を現実の世界に役立てられる人材を育成します。数学への深い理解と創造的な発想が出会う場所で、あなたの好奇心を未来につなげてみませんか。

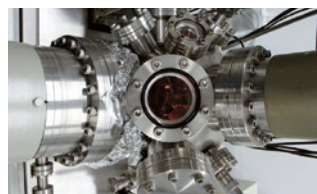
機械科学・航空宇宙学科 　機械科学・航空宇宙学科から未来ある社会の実現を



機械科学・航空宇宙学科では、「4力」と呼ばれる基礎力学を土台にしながら、機械工学およびその延長上に位置すると考えられている航空工学あるいは宇宙工学の分野で活躍できる優秀な技術者・研究者を育成することを目的としています。カーボンフリー社会の実現が叫ばれて久しいですが、基礎力学に基づく最先端の研究を推進しながらカーボンフリー社会の実現に直接的に貢献していきます。

電子物理システム学科

原子・分子の物理から
未来の電子・光・情報システムへ広がる横断的学び



電子物理システム学科では、電子・光テクノロジーを活用するための基礎として物理学と電子工学を深く学び、それを材料物性、半導体工学、光エレクトロニクス、情報工学、ナノテクノロジー、バイオテクノロジーとの間で連携させて、新しい学術領域の創出を目指します。さらなる豊かな社会の実現に向け、電子と光の科学技術を多様な分野でシステム化できる専門性を備えた人材を育成します。

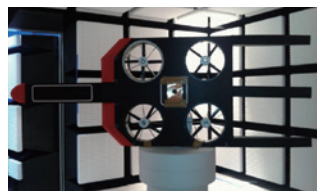
情報理工学科

情報科学で多様な幸せを創る未来へ
ー世界の課題解決と価値創造に挑む人材を育成ー



情報理工学科では、現代社会を支える情報技術について、理論から応用まで体系的に学びます。ハードウェアとソフトウェアの両面からコンピュータの仕組みを深く理解し、その性能を高める技術や、人工知能など高度なシステムを開発するための力を養います。こうした学びを通じて、世界が直面する課題に科学的に挑み、多様な人々の幸せを支える新しい価値を創造できる国際的な技術者・研究者を育成します。

情報通信学科 　情報通信技術の学びを通じ社会を支える人材に



情報通信学科では、最先端のコンピュータを作る技術、高速・高信頼の通信ネットワークを実現する技術、これらをベースに生み出されるメディア・コンテンツ技術をバランスよく学べます。放送や通信インフラを支える技術、情報セキュリティ、量子コンピュータ、人工知能技術など、あらゆる産業の基盤となる技術の学びを通じ、社会を支える仕組みを作るエンジニアを目指す人におすすめです。

IPS研究室配属
4年次



★印の教員が各学年の担任です。入学後の学習や学生生活の悩みなど、担任がサポートします。

情報アーキテクチャ分野

- ◎情報・通信モデル
- ◎計算知能
- ◎言語・メディア情報
- ◎社会/経営情報
- ◎ロボティクス・メカトロニクス
- ◎情報センシング



ふじむら しげる
藤村 茂 教授
(スマートインダストリー)
人にやさしいものづくりを目指して、工場で利用する情報システムの高知能化に取り組んでいます。



ふるまき たかゆき
古月 敬之 教授
(ニューロコンピューティング)
生物から学んで新しい技術の開発を目指して、人間より賢い機械学習と人工知能に取り組んでいます。



いわいほら みずほ
岩井原 瑞穂 教授
(データ工学)
大規模データの分析を通して、人々の興味や情報共有の動向を探る研究を行っています。



かまた せいいちろう
鎌田 清一郎 教授
(イメージメディア)
自動運転、ロボットなどの様々な応用が考えられる画像処理、パターン認識、深層学習の研究を行っています。



かmogawa junji
亀岡 遵 教授
(バイオ情報センシング)
リアルタイム生体情報を収集できるバイオセンサーの開発と、そのIOMTへの応用研究を行っています。



るるべーじゅいぶ
ルバージュ・イヴ 教授
(用例翻訳・言語処理)
自動翻訳品質の向上のため、二ヶ国語間の対訳関係を自動的に位置づけて集めることに取り組んでいます。



まつまる たかふみ
松丸 隆文 教授
(バイオロボティクス&ヒューマンメカトロニクス)
ロボティクス・メカトロニクスの研究開発から人とロボットのより良い協調作用／相互関係を創造。



よしえ おさむ
吉江 修 教授
(コミュニケーションコンピューティング)
人が集まればコミュニケーションが生まれます。この原理を解明し、人間と共存する人工システムを創ります。



ご けん
伍 軍 教授
(ネットワークインテリジェンス&セキュリティ)
高信頼と可用のネットワークを目標、関連の計算、通信、制御の安全と知能化に取り組んでいます。



いらい ゆうや
家入 祐也 准教授
(ヒューマン中心インタラクション)
人・社会・情報技術が三位一体となって課題を解決する社会システムの実現に取り組んでいます。

★1年生担任

生産システム分野

- ◎機械設計・ロボット
- ◎センサ・先進材料・応用計測
- ◎システム制御・プロセス制御・エネルギー
- ◎生体計測制御システム
- ◎プロセス運用監視・設備安全管理
- ◎自動車パワートレイン



あらかわ まさお
荒川 雅生 教授
(設計工学システム)
設計工学システムは、学んで来たことを多目的最適化することでどこでもドアを開ける学問です。



はしもと けんじ
橋本 健二 教授
(移動ロボティクス・プラットフォーム)
社会課題を解決するロボット開発を通して、工学的センスや問題発見・解決能力を養いましょう。



まつもと かずま
馬渡 和真 教授
(マイクロナノ流体デバイス)
化学やバイオ、医療情報を誰でも簡単に取得できる流体デバイスで科学と社会に貢献します。



みやけ たけお
三宅 丈雄 教授
(バイオイオンエレクトロニクス)
生体とイオンで通信するための新たなモノづくり:デバイス/生体間のインタラクティブバイオ界面を究める!



たなか えいいちろう
田中 英一郎 教授
(機械システム設計)
人間補助装置の開発や、機構・機械要素の研究を通して、安全、快適・便利で長持ちな機械設計を目指します。



たの しげあき
立野 繁之 教授
(生産プロセス工学)
災害現場での救助活動を援けるために、無線技術を使って色々な情報を集めるシステムを作っています。



うえだ けんじ
植田 研二 教授
(知能半導体工学)
現代情報化社会を革新し得るような優れた特性を持つ新薄膜材料・デバイス開発に取り組んでいます。



しむら たかよし
志村 考功 教授
(半導体デバイス材料工学)
日本の半導体産業復活への期待が高まっています。半導体デバイス材料の面白さを楽しみましょう。



たかはし じゅんこ
高橋 淳子 教授
(生体医工学)
有機化合物とX線の物理化学的作用の医療応用など、生体医工学に関する研究に取り組んでいます。



やまぐち きょうへい
山口 恭平 准教授
(パワートレインシステム)
自動車のさらなる低燃費、低排出ガス化を実現する次世代パワートレインシステムの研究に取り組んでいます。

★2年生担任

集積システム分野

- ◎高速/低電力半導体
- ◎アナログ・高周波回路
- ◎音響・画像処理
- ◎光集積・テラヘルツ集積回路
- ◎MEMSセンサー
- ◎システム最適化・検証



いけした みよお
池橋 民雄 教授
(マイクロ電気機械システム)
IoTへの応用を見据えつつ次世代のMEMSセンサーやアクチュエータの研究を行っています。



いけなが たけし
池永 剛 教授
(画像情報システム)
次世代のエンターテインメントやTV放送サービスなどを創出する映像システムの実現に取り組んでいます。



かきつ たかあき
碓塚 孝明 教授
(発光システム)
光による省電力通信や高速な情報処理の実現を目指して、レーザー・光回路・システム応用を研究しています。



きむら しんじ
木村 晋二 教授
(高圧検証技術)
小さく高速でバッテリーが長持ちする大規模集積回路を設計する技術とその正当性を確かめる技術の研究を行う。



まきの しょうじ
牧野 昭二 教授
(知的音響システム)
人間の聞き分け能力をコンピュータで実現するための、音の信号処理の研究を行っています。



たかはた きよと
高畑 清人 教授
(光電子集積システム)
より美しい映像や音声、より大きな情報の送受信を可能とする新たな光・電子集積回路の創出を目指します。



たんだら とおる
丹沢 徹 教授
(グリーン集積システム)
半導体で作る集積回路は社会で急増中。低エネルギー化のための回路設計に挑戦しています。



やまざき しんたろう
山崎 慎太郎 教授
(集積システム最適化)
最適化技術を駆使し、従来にない画期的な性能を発揮する機能デバイスの実現を目指しています。



よしまつ としひこ
吉増 敏彦 教授
(無線通信回路技術)
スマホやWiFiを快適に使用でき、電池の長持ちを目指して、集積システムの高性能化に取り組んでいます。



せりた かずのり
芹田 和則 准教授
(テラヘルツ集積システム)
ビヨンド5Gで期待されるテラヘルツ波を使ったデバイス開発・センシング応用を研究しています。

★3年生担任



高度な研究開発能力と経営センスとを併せ持ち、
グローバルに活躍できる理工系専門家を目指し、
社会が求める「実践力」「自主性」「柔軟性」を身に付け、世界に羽ばたきませんか。



ゲームや携帯電話といった電子機器、自動車・鉄道・飛行機などの交通インフラ、医療・教育の現場で利用されるシステムなど、多彩な情報科学技術により私たちの生活は支えられています。そのような技術は、モノの充実・進歩という物理的限界を超え、AI(人工知能)のように意思・感情を表現するまでに達し、社会を創る・変える可能性を秘めた壮大な領域に広がっていきます。IPSはこの情報科学技術や材料・素材などのデバイス技術を研究領域とし、より良い社会を実現するモノや仕組み作りへ、約30の研究室で様々な観点からアプローチしています。



自治体、企業、研究機関、大学・大学院が一体となり形成する「北九州学術研究都市」に研究科を構える立地性により、学生や教員、企業人、エンジニアが互いに近距離かつ継続的に接点を持ち、教育・研究面で建設的な効果が数多く生まれています。また、学外の現場実習を実施するなど、学内教育に留まらず、就職後を見据え社会で必要とされる実践力や適応力が身に付く授業を設置しています。さらに、共同研究やプロジェクトにおいて、北九州学術研究都市内の連携から生まれる産官学の繋がりが、最新技術の動向やマーケティングに対する意識を育み、先進的な研究を促しています。



IPSには世界中から学生が集まります。そこで、授業は英語を基本とし日本語を併用して行われます。活躍の場を世界に広げたいと考える日本人学生や、日本での就職を希望する志の高い留学生など、未来の理工系エリートたちは様々なバックグラウンドを持ち将来を思い描いています。他大学院では味わえないようなクロスカルチャーと刺激を日常的に感じることができ、国際人としてのコミュニケーション能力やグローバルに変遷する情報化社会を担っていく素養が自然と身に付きます。さらに、留学制度を利用して国際感覚を磨き上げることも可能です。

2025年度 奨学金受給例

奨学金名称	支給額	受給期間	支給種別
日本学生支援機構大学院第一種奨学金	¥50,000~¥122,000/月	1~3年	貸与
日本学生支援機構第二種奨学金	¥50,000~¥150,000/月	1~3年	貸与
日本学生支援機構入学時特別増額貸与奨学金	¥100,000~¥500,000/一時金	入学一時金	貸与
小野梓記念奨学金	¥400,000/年	1年	給付
校友会給付奨学金	¥400,000/年	1年	給付
大隈記念奨学金	¥400,000/年	1年	給付
旭興産グループ奨学金	¥500,000/年	1年	給付
三井金型振興財団奨学金	¥80,000/月	正規修学年限	給付

【ご参考】2027年度入学学費・諸会費

■修士課程

年度	納入期	入学金	学費・諸会費			合計
			授業料	実験演習料	学生健康増進互助会費	
第1学年	入学時(春学期)	¥300,000	¥581,000	¥25,000	¥1,500	¥907,500
	秋学期	-	¥581,000	¥25,000	¥1,500	¥607,500
	計	¥300,000	¥1,162,000	¥50,000	¥3,000	¥1,515,000
第2学年	春学期	-	¥731,000	¥25,000	¥1,500	¥757,500
	秋学期	-	¥731,000	¥25,000	¥1,500	¥757,500
	計	-	¥1,462,000	¥50,000	¥3,000	¥1,515,000

■博士後期課程

年度	納入期	入学金	学費・諸会費			合計
			授業料	実験演習料	学生健康増進互助会費	
第1学年	入学時(春学期)	¥200,000	¥353,500	¥25,000	¥1,500	¥580,000
	秋学期	-	¥353,500	¥25,000	¥1,500	¥380,000
	計	¥200,000	¥707,000	¥50,000	¥3,000	¥960,000
第2学年	春学期	-	¥453,500	¥25,000	¥1,500	¥480,000
	秋学期	-	¥453,500	¥25,000	¥1,500	¥480,000
	計	-	¥907,000	¥50,000	¥3,000	¥960,000
第3学年	春学期	-	¥453,500	¥25,000	¥1,500	¥480,000
	秋学期	-	¥453,500	¥25,000	¥1,500	¥480,000
	計	-	¥907,000	¥50,000	¥3,000	¥960,000

公式SNSも是非ご覧ください





早稲田大学 基幹理工学部

〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1

TEL.03-5286-3808

✉ fse-admission@list.waseda.jp ☞ <https://www.fse.sci.waseda.ac.jp/>



早稲田大学 大学院情報生産システム研究科

〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの2-7

TEL.093-692-5017 FAX.093-692-5021

☞ <https://www.waseda.jp/fsci/gips/>



お問合せフォーム



早稲田大学マスコットキャラクター／WASEDA BEAR(ワセダベア)